

令和8年度 シラバス

教 科	理科	科 目	生物	学 年	第2学年	学 科 類 型	普通科理系
単位数	2 単位	教科書	生物（数研出版）				
副教材	生物実験ノート・問題集（愛媛県高等学校教育研究会理科部会生物部門）、二訂版スクエア最新図説生物（第一学習社）、リードα生物（数研出版）、チェック&演習（数研出版）						

学習目標	生物基礎の内容を踏まえて、生物についての理解を深めていきます。最初に、生物の進化と、遺伝子の変化や多様性との関わりについて学びます。 生物や生物現象についての観察や実験を行い、自然に対する関心や探究心を高め、生物に対する科学的な見方や考え方を高いレベルで養うことを目標とします。
------	---

キャリア教育の視点	生物基礎で学習した内容を基に、生物に対する総合的な見方や考え方を養います。また観察や実験を通して、身近な自然や生物現象に対する関心や探究心を深め、生活の中で起こる様々な自然現象や生物現象について、自分の視野を広げることができます。 また、学習内容と産業や技術とのつながりが強いこともあるので、教科書や図説の内容だけではなく、書籍やインターネット等を活用してデータを収集したり、科学の原理、産業への応用などについて調べたりするなど、理系の進路に対応します。
-----------	---

		学習計画及び内容	考 査
1	4月 5月 6月 7月		
2	8月 9月 10月 11月 12月	<11月まで必修科目として生物基礎> 第1章 生物の進化 第1節 生命の起源と生物の進化 第2節 遺伝子の変化と多様性 第3節 遺伝子の組み合わせの変化	生物の進化について、遺伝情報をもとにした進化のしくみを理解し、生物やヒトの進化の過程を学習します。
3	1月 2月 3月	第4節 進化のしくみ 第5節 生物の系統と進化 第6節 人類の系統と進化 第2章 細胞と分子 第1節 生体物質と細胞	学年末考查

学習方法	授業で教科書の内容を理解し、その後実験を行ったり図表を活用したりすることによって、自分の目で見て確認してください。また、一人一台端末を利用して図や表におけるポイントを解説します。各自復習に使い、知識を深めて下さい。 生物は暗記だけでは理解できません。前後の関連を意識し、問題演習を重ねることによって知識の定着を図ってください。
------	---

評価の仕方	下記の(1)～(5)の項目を、評価の観点別(知識・観察や実験の技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)に評価します。各学期の成績はそれらの評価から総合的に判断します。 (1)授業への取組 (2)ノートの記載内容 (3)観察・実験等 (4)教科書・問題集の問題 (5)中間・期末考查
-------	---

備考	
----	--